

## 別 記

### 1 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

名 称 東日本旅客鉄道株式会社  
代表者 代表取締役社長 大塚 陸毅  
所在地 東京都渋谷区代々木二丁目2番2号

### 2 対象事業の名称及び種類

名 称 東北縦貫線（東京駅～上野駅間）整備事業  
種 類 鉄道の改良

### 3 対象事業の内容の概略

本事業は、東京駅～上野駅間の約3.8kmに東北・高崎線及び常磐線と東海道線の相互直通運転ルートを整備するものである。これにより、東北・高崎線及び常磐線の各方面から東海道線の東京・新橋・品川方面への直通運転が可能となり、山手線、京浜東北線の混雑率が緩和されるほか、直通輸送体系の整備により所要時間が短縮されるなど利便性の向上を図るものである。

事業区間の約3.8kmのうち、約1.3kmは、高架橋新設及び既設高架橋改良を行い、残り約2.5kmは、既設高架橋の留置線及び引上線の線路改良を行うものである。

対象事業の内容の概略は、表1に示すとおりである。

表1 対象事業の内容の概略

項 目	内 容
事業区間	千代田区丸の内一丁目～台東区上野七丁目
事業延長	約3.8km 高架橋新設及び既設高架橋改良区間：約1.3km、 線路改良区間：約2.5km
構造形式	高架式
対象駅 (停車駅)	東京駅、上野駅
工事予定期間	約4年

### 4 環境影響評価の項目

環境影響評価の項目は、対象事業の事業計画案の内容から環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況から把握した環境の地域特性との関係を検討することによって選定した。

選定した項目は、騒音・振動、日影、電波障害、景観及び廃棄物の計5項目である。

表2 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連

環境影響評価の項目	区分 環境影響要因 予測する事項	工事の 施行中	工事の完了後	
		建設 工事	鉄道 の走行	施設 の存在
騒音・振動	建設機械の稼働に伴う建設作業騒音及び建設機械振動			
	列車の走行に伴う鉄道騒音及び鉄道振動			
日影	冬至日の日影の範囲、日影の時刻及び日影時間数等の変化の程度			
電波障害	遮へい障害及び反射障害			
	パルス雑音障害及びフラッター障害			
景観	地域景観の特性、代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度			
廃棄物	建設発生土及び建設廃棄物の排出量			

注1) 印は、予測・評価を行う必要があると認められる環境影響評価の項目を示す。